

R7.1 1月 たんぽぽぐみドキュメンテーション「自分で」

外あそび後に保育者が子ども達に「靴下脱ごうね」と誘うとAちゃんが靴下のつま先を持って引っ張り脱ごうとしていた。



<考察>

たんぽぽぐみは最近外あそびの時に保育者が「お外に行くよ」と誘うとカゴから帽子を出してかぶろうとしたり、外あそび後にはAちゃんの様に靴下を脱ごうとするなど自分でしようとすることが増えてきた。

「～するよ」と言葉にして知らせながら大人と一緒に帽子をかぶったり、靴下を脱いだりする援助を繰り返ししていくことで子どもは何をするのかが分かり、「自分でやってみよう」という気持ちが自然と芽生えてくるのだと感じた。

これからも生活の中で言葉で知らせながら自分でやろうとする気持ちを大切にして見守りや援助をしていきたい。